（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　ほやほや			
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日	～	令和8年3月2日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17家庭	（回答者数）	9家庭
○従業者評価実施期間	令和8年2月23日	～	令和8年3月5日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋数が多く、活動に合わせて部屋をわけることができている。	部屋ごとにできる活動を区切り、お子さんが混乱せずに活動できるように工夫している。	部屋毎の活動内容を表示し、お子さんがさらに理解しやすいようにしていきたい。
2	体調や心身の状況により、通学や通所に課題感のあるお子さんもおられるため、ご本人のペースやご家族の意向に合わせた利用形態を共に考案し、きめ細やかなサービス提供を目指している。	通学や通所が第一の目標になるお子さんに対しては、訪問や面談を行いながら、ご本人が無理のない状態とは何かをご家族と共に探り、フィードバックを行っている。	直接支援に繋げられるように、家族支援を禰実させ、保護者とのやりとりをさらに充実させていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	法人内他事業所に比べて、広く活動できる空間が無く、環境的に手狭に感じることがある。	広い空間での活動をする際には、地域の公園やコミセン等を活用するしかない。事業所内で行える支援をメインで行ってはいるものの課題感を感じている。	空間的な問題は、なかなか改善できないため、地域にある資源をより充足させていきたい。
2	地域移行に向けた取組みがあまり為されていない。	学校との連携体制の構築ができている学校とできていない学校がある。 地域の児童館の利用ができていない。	総合支援協議会の活動へ積極的に参加し、横の繋がりを深めていきながら、連携体制が構築できるための方法等を共有する。 積極的に、児童が在籍している小学校区の児童館を利用したり、児童クラブとの交流を図ったりしていく。
3			